熱　意

小美玉市立小川南中学校　学校だより
NO．２７　令和２年11月16日　発行

教育目標　　これからの時代を切り拓く　たくましい生徒の育成
キーワード　熱意と誠意　　～　本気で　明るく　粘り強く　～

令和２年度県駅伝競走大会

１１日（水）よく晴れて北風が冷たい中，茨城県中学校駅伝大会が開催されました。男女そろっての参加は１０年ぶり。選手は自己ベストを目指し，全力で頑張りました。

詳しい結果はまだ出ていませんが，最終順位は，男子が４０位，女子が１８位でした。それぞれの選手は，１つでも順位を上げるべく，前を目指して力の限り走りました。

練習や中央地区大会でチームを牽引してきた３年生は，今までの思いをぶつけた大会になりました。下級生には，３年生のそんな熱い思いを引き継いで，これからも努力してほしいと話しました。

女子１区

女子２区

女子３区

女子４区

女子５区

男子１区

男子２区

男子３区

男子４区

男子５区

男子６区

マナーアップキャンペーン

９日から１２日まで，さわやかマナーアップキャンペーンを実施しました。生徒会本部及び各部活動に分かれて，小川南小学校の昇降口前と本校昇降口前の２カ所であいさつ運動を展開しました。

初日の小川南小学校では，生徒会本部役員が元気な声で，登校してくる小学生に「おはようございます」と声をかけていました。

１０日には，本校昇降口前で男女卓球部が寒さに負けず元気な声を出していました。

このマナーアップキャンペーンを通して，小川南中学区の児童生徒がさらに元気なあいさつをしてくれることを期待しています。

駅伝壮行会

９日（月），県駅伝大会に男女そろって参加する選手のために，生徒会が中心となって壮行会を開きました。男女そろって参加するのは，約１０年ぶりとのこと。前回ペア出場したのは，箱根駅伝を走った小野木選手（日体大駅伝部主将）が在学していたころ以来のことのようです。今回走る選手からは，「自己ベストを目指します」「選手が自己ベストを出せるようサポートします」などの力強い抱負が述べられました。

壮行会を企画・運営してくれた生徒会役員の皆さん，ありがとうございました。